

オーラル・ヒストリーをめぐる対話

大門正克著『語る歴史、聞く歴史 オーラル・ヒストリーの現場から』（岩波新書）に学ぶ

2018年11月10日（土）13時30分～18時、11（日）9時30分～12時30分

会場 北海道大学 人文・社会科学総合教育研究棟（W棟）409

主催 『語る歴史、聞く歴史——オーラル・ヒストリーの現場から』に学ぶ会（参加費無料、申込不要）

岸 伸子（札幌女性史研究会） 辻 智子（北海道大学大学院教育学研究院）

水溜 真由美（北海道大学大学院文学研究科）

連絡先 knobuko@jt8.so-net.ne.jp（岸） tsujitomoko@edu.hokudai.ac.jp（辻）

【 11月10日（土） 】

第1部 講演（13:30～14:30）

「人に話を聞く」ということは、どういうことなのだろうか

—『語る歴史、聞く歴史』を執筆して—

講師：大門正克さん（横浜国立大学教授、日本近代史・日本経済史）

第2部 パネルディスカッション（14:45～18:00）

『語る歴史、聞く歴史 オーラル・ヒストリーの現場から』をどう読むか

進行：辻智子（北海道大学）

パネラー：〈思想史・文学・社会学の視点から〉

水溜真由美（北海道大学）、上戸理恵（北海道情報大学）、新田雅子（札幌学院大学）

〈歴史学・女性史の視点から〉

高野宏康（小樽商科大学）、広瀬玲子（北海道情報大学）、児島恭子（札幌学院大学）

コメンテーター 大門正克

【 11月11日（日） 】

第3部 シンポジウム（9:30～12:30）

オーラル・ヒストリーの難しさとおもしろさ：北海道の地域実践から

進行：塚本裕子（札幌女性史研究会）、阿知良洋平（室蘭工業大学）

報告1 被爆者が語ったこと、語らなかったこと 北明 邦雄（北海道被爆者協会）

報告2 他者の自伝を援けるということは 滝澤 正（北海道歴史研究者協議会）

報告3 聞き取り調査から紡ぐ個人史と地方史 山本 竜也（地方史研究家）

報告4 中学生が学ぶ近現代史～「わが家の20世紀年表」づくりを通して 平井 敦子（札幌市立中学校）

コメント（大門正克）&質疑応答 & 全体討議

<会場略図>

